

ハローキャリアワーク通信

令和6年12月26日

教育総合センター

事業推進担当課



12月26日(木曜日)に二子玉川にあるKIS(キティインターナショナルスクール)を会場に、ハローキャリアワークが行われました。今回は2日間のプログラムです。応募者も多数あり抽選の結果10名の参加予定でしたが、体調不良から3名の欠席者があり小学5年生から中学2年生

7名で行いました。

初めに教育委員会の担当者からの諸注意があり、その後、



KISの動画を見たあと、代

表取締役社長の齊藤氏からKISのお仕事や英語のみで活動していることのお話、体験を通じて英語で絵日記を仕上げてもらうとの話がありました。

終了後、ネイティブのVanessa先生(ヴァネッサ先生)に英語を話すことの楽しさなどを伝えていただきました。雰囲気をもたせてもらいながら、

子どもたちは英語で自己紹介をしました。その後、二手に分かれての保育体験(園外保育)を行いました。偶然にも女子のグループ(3名)と男子の

グループ(4名)になり、別々の公園に向かいました。女子のグループの公園では、3歳から5歳児の園児たちが遊具で遊んだり、落ち葉を集めたりしていました。担当の先生が園児を集めてくださり、英語で3名の子どもたちの紹介をして、一緒に遊ぶように伝えていました。小・中学生の子どもたちは、戸惑いながらもどのように関わろうのか分からずにいましたが、ブランコに園



児が乗り始めたので、背中を押して揺らす役を始めました。

順番に交代しながらブランコに乗るお手伝いをはじめると、園児たちとの距離も縮まり、どんどん仲が深まっていく様子がみて伺えました。」

「他にも公園遊び中、転んで泣き始めてしまった園児がいました。その園児を先生が介抱していると、参加していた5年生の子どもがそばに寄り添い、泣きじゃくっているこの背中をさすったり、手を握って落ち着かせたりする姿がありました。徐々に園児も泣き止み、遊びに戻ろうとしたときには、園に戻る時間になり、並んで帰りました。参加した子どもたちも、園児の手を握り列の中に入って、少し話始めていました。途中で笑い声も出るほど好ましい状態が見られました。道路の横断では「ライトOK、レフトOK、ライトOK、ハンドアップ」と言って、渡っていました。また、





自動車が通る度に止まって、車を先に行かせました。その時、園児が車について「〇〇」と車種を口にします。先生も車種を言いました。車が通る度に言うので、参加していた子が「保育園の先生は、車のことも知らないといけないのですね」と語りかけていました。園について、今度はクラスでの活動です。先生が園児一人一人に自己紹介（もちろん英語）をさせ、名前と歳、好きな食べ物やモノなど質問しながら答えさせていました。さらに、クリスマスの時のプレゼントまで聞いていました。3歳の子も5歳の子もそれぞれに答えていました。次に、ハローキャリアワーク参加者たちも「名前、年齢、クリスマスのプレゼント」を英語で答えさせ、自己紹介をしました。その後、園児からの質問コーナーになりました。園児からは「好きな食べ物、色、動物」などいろいろな質問があり、一人一人答えていました。その次には、「絵」を描くことになりました。各内容は「家族」でした。園児も参加した子どもたちも先生に言われてことを理解して、鉛筆やクレヨンで描き始めていました。しかし、活動終了の時間が近づき、園児に「バイバイ、シーユーアゲイン」と別れを伝え、振り返りの時間にしました。しかし、もう1つのグループは、戻ってきていませんでした。終了時間ギリギリになり振り返りの時間が十分に取れなく、一部の参加者は明日までに行ってくることにな





りました。それでも、楽しかった様子を見て取ることができました。明日の活動が楽しみにになりました。以下もう一つのグループの様子です。

